

「いい質問ですね〜!」

世界で最も暑い場所の一つ、イラクの港町バスラに向かう車中で池上彰さんから生で言われた。言わずと知れた、今年の流行語大賞のトップテンにも選ばれた言葉である。この後テレビ同様、池上さんによる丁寧かつ分かりやすい説明が続く。われわれが乗っている車は防弾車。運転手とその横に座る銃を持ったガードマンは日本語が分からない。実質、私だけを相手に珠玉の解説が行われたのである。なんともつたいない、ぜいたくな時間なのだろう。そして、誰も見ていない車の中で、たった一人を相手に誠意ある解説してくれる池上さんの裏表ない人柄に感激した。肝心の私の質問が何だったのか、思い出せないのが残念でならない。

さて、8月14日のゴールデンタイムに「池上彰の戦争を考えるSP」が放送された。池上さんのイラク取材も番組内で紹介されたところ、イラクに関する部分の視聴率はなんと13%! 1500万人の方々々に伝わったことになる。番組では、イラクの復興の様子に加え、松島正明・JICAイラク事務所長のインタビューや、円借款を中心としたJICAの支援状況、国際協力の必要性なども伝えられた。

その池上さんは、常々ODAについて「情けは人の為ならず」とおっしゃっている。グローバルな世界の中で国際協力を行うことは、相手の国のみならず、自分の国のためでもある。世界が「お互いさま」であることは、東日本大震災後に各国が支援を寄せてくれたことからうかがえる。

しかし、国際協力の現場はまだまだ知られていない。現場の情報をより多くの方々に届けるのはJICAの責務。しっかりと果たしていきたい。

広報室広報課長 友成晋也

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2011年11月15日

Email: jica@idj.co.jp
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① マラウイの一村一品
- ② 書籍『アハメドくんのいのちのリレー』(p37参照)
- ③ 書籍『私たちにたいせつな生物多様性のはなし』(p37参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金の確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行)
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル
TEL 03-3584-2191
FAX 03-3582-5745
Email order@idj.co.jp



次号予告 (2011年11月1日発行予定)

ASEAN

2015年に経済統合を目指すASEAN(東南アジア諸国連合)。ASEANの発展と日本のかかわり、ASEANの一体化に向け日本が行っている最新の支援状況などを紹介します。

訂正とお詫び：2011年9月号 6ページ2段目・19行目に誤りがありました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

[誤]「うち3,650万人が暮らす東京は、第2位のインド…」

[正]「3,650万人を擁する東京は、第2位のインド…」

※ここでの「東京」は、東京通勤圏の人々を含めた人数です。

JICA's World

OCTOBER 2011 No.37

編集・発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency: JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396 URL: <http://www.jica.go.jp/>

バックナンバーはJICAホームページ (<http://www.jica.go.jp/publication/j-world>) でご覧いただけます。

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。